

【国立循環器病研究センターにおける病院被害を想定した研修プログラム】

日 時：2019年11月10日（日）13：30～16:00

場 所：国立循環器病研究センター

主 催 者：摂南大学、国立循環器病研究センター

参 加 者：1班～7班：8人、8班：7人 計63人

ファシリテータ：摂南大学大学院生2人、理工学部生10人、

教員他2人、摂南大学大学院修了生3人、計17人

プログラム：

13：30～ 挨拶【国立循環器病研究センター】

13：40～ プログラム趣旨説明（条件設定、プログラムの進め方）

14：00～ 図上訓練スタート

14：50～ 休憩

15：00～ 各班のプロダクトの発表

15：30～ 病院建物被害発生後の対応について【池内教授】

15：45～ まとめ【国立循環器病研究センター】

15：55～ ご挨拶【国立循環器病研究センター】

※終了後、アンケートにご協力をお願いします。

以 上

20XX年、秋の朝、大阪府を大地震が襲います。本プログラムでは、院内の非医療者である皆さんが、地震後の病院運営をする立場となったと仮定し、さまざまな要求や条件にどのような対応を行うかについて、参加者同士でグループに分かれてシミュレートしていきます。

【本日のシナリオ】

ある秋の暑い朝、大阪を大きな揺れが襲った。揺れは収まり、病院には被害がなさそうだ。ただ、外を見ると、煙が立ち上がり、多くの家が倒れている。これは・・・たくさんの傷病者が発生するかもしれない。院内には災害対策本部が立ち上がり、各部署からの被害確認が必要だ！・・・・・・